



# 建設通信

2025 年 7 月号  
Vol.93

**Qui クイックス株式会社**  
http://www.quix.co.jp  
東京都渋谷区宇田川町 2 番 1 号  
03-5456-1511(TEL)  
03-5456-1811(FAX)

発行者



3DGS とは？



建設・測量展 EXPO



熱中症ガイド

測量業界で取り組みたい事業戦略は今後も3次元です。高精度+スピード+視覚的な分かりやすさを付加的な価値として与えてくれるからです。将来の新規市場に向け、3D レーサースキャナーやドローンを用いた計測方法を確立し、点群データの処理などの応用技術を早急に獲得する必要があるでしょう。

発行責任者 牧坂勝

## 点群？写真？話題の新技術 3DGS とは？

3DGS とは、3D Gaussian Splatting(ガウシアン スプラッティング)という 2023 年に発表された、複数の画像から高密度、高精度な 3 次元モデルを生成する技術で、開発が進められている伸びしろのある技術です。3DGS は、楕円形(外枠のない外側に向かいだんだん薄くなった形)をたくさん重ねて 3D モデルを作る方法です。この楕円形は、ガウス関数(正規分布)を基にしています。3DGS は非常に滑らかな表現が可能です、特に透明なものや反射の強いものをうまく再現することができます。メッシュでは表現しきれないものを綺麗に描けるのが特徴です。ポリゴンメッシュではどうしても角が目立ってしましますが、3DGS を使うと光の反射や透明度をリアルに再現できるので、より現実に近い表現が可能です。これまでの点群などでは構造物の角などはわかりづかったですが、より鮮明に表現されるため、トレースや計測もはかどることが期待されています。ゲーム、不動産関連、防災分野など様々な分野での活用が期待されています。測量関連では、3DGS での観測ができる LiDARSLAM が発売され、計測後には写真と見まごうような、滑らかなデータが取得できます。

福井コンピュータは 2025 年秋、トレンドポイントに 3DGS の技術を使用したバージョンを追加することを発表しました。点群や 3D 計測の分野は今後も発展が予想されています。デジタルツインや AR の精度も 1 年後には相当な進歩が期待されます。

## 働く人の今すぐ使える熱中症ガイド — 厚生労働省

高温多湿で過ごしにくくなった日本の夏。厚生労働省によると、職場における熱中症の労働災害は増加の一途をたどっているようです。そのような背景で、職場における熱中症対策を強化するため、今年4月15日に改正労働安全衛生規則が公布され、6月1日より施行となりました。改正後、熱中症の重篤化を防止するための「体制整備」「手順作成」「関係者への周知」が事業者には義務付けられることになりました。対象となるのは、「WBGT 値 28 度以上、または気温 31 度以上の環境下で連続 1 時間以上または、1 日 4 時間を超えての実施」が見込まれる作業のようです。こうした改正に併せて厚生労働省は、職場の環境に応じた熱中症対策をしていく上で役立つ、「働く人の今すぐ使える熱中症ガイド」というものを掲載しています。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116133\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116133_00001.html)(厚生労働省ホームページより)

## Intel Core Ultra とは？

インテル Core-i シリーズの後継 CPU ブランドです。AI 処理専用エンジン NPU(Neural Processing Unit)が搭載され、AI の計算処理を専門に、かつ効率的に行うための特別な回路が CPU パッケージの中に組み込まれました。「背景ぼかし」「マイクのノイズ除去」「カメラが自動で顔を追う機能」など AI 技術が活用されている処理をオフライン環境下で行ってくれるため、AI 処理のスピードは上がり、社内情報を外部のサーバーに上げずにローカルで行ってくれるという魅力もあります。

## 第 7 回 国際 建設・測量展(CSPI-EXPO2025)

@幕張メッセ(6月18日~21日)

今年は一般開放日も含めて4日間開催され、来場者は合計 57,362 名。昨年より 15,000 人増で盛況でした。

労働時間の上限規定が施行された今年は、その対応への即戦力の技術やソリューションが目玉でした。

①省人化かつ、時間短縮につながる技術として、建設器械では、一カ所で作業ができ移動する時間、労力が減少するチルトローテーター⇒(40%の時短)

②一人での観測、データ収集ができる LiDARSLAM 技術が日進月歩で、位置情報の精度向上、点群データ化から成果作成までスピードが格段にアップし、お求めやすい価格の商品、ソリューションが目立ちました。

測量⇒設計⇒施工の中で、様々な新しい技術の流れを体感できる国際建設・測量展でした。

2026 年も開催 4 日間の予定が決定しています。日進月歩の技術は来年にはどう進化するか楽しみです。

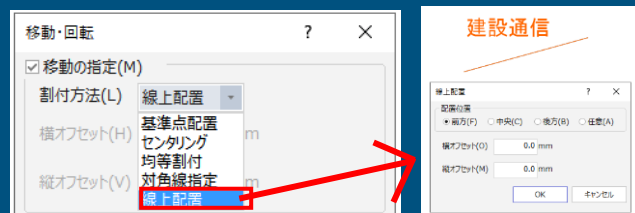
## 「直接通信サービス」提供開始

携帯会社 KDDI は、今年4月10日に「au Starlink Direct」という新たなサービスを発表し、同日から利用可能となりました。「au Starlink Direct」とは、低軌道衛星(LEO)から放射された電波を直接スマートフォンで受けられるサービスで、地上のアンテナを使わないでインターネット接続が可能となります。山間部や島しょ部、キャンプ場や海上といった、これまで圏外だったエリアにおいても、空が見える状況であれば、au スマートフォンが直接通信対応の Starlink 衛星とつながり、通信できるようになります。

現在使える機能は、メッセージの送受信、位置情報の共有などに限定されていますが、今年の夏以降にはデータ通信にも対応予定だそうです。ちなみに、他社回線の利用者であっても専用の手続きを行えば、このサービスを利用できるようになりました。圏外エリアで誰かと連絡を取り合えることはもちろんのこと、緊急地震速報などの受信や緊急時に現在地の位置情報を家族や友人に共有できるなど、万が一の状況であっても心強いサービスとなることでしょう。

## ワンポイント アドバイス

## TREND-ONE Ver.9 新機能 『文字移動後の配置方法を指定』



データ編集タブ > 文字編集グループ > 文字編集 > 移動・回転  
コマンド > 移動後の配置方法を選択できるようになりました。  
割付方法に線上配置も追加されています。